

## 令和5年住宅・土地統計調査の結果（空き家率、空き家数）について

### 1 結果概要

令和5年住宅・土地統計調査（総務省調査）では、全国、京都府共に空き家率、空き家数が増加する中、本市の空き家率、空き家数共に減少し、空き家率（空き家数）は12.5%（105,300戸）となった。

平成25年の調査までは、空き家率が全国平均を上回っていたが、平成26年に「京都市空家等の活用、適正管理等に関する条例」を制定し、総合的な空き家対策を実施してきた結果、前回（平成30年）から空き家数、空き家率が減少、今回更に減少した。

<表> 全国及び京都府の空き家率・空き家数の比較（詳細は別添資料を参照）

	京都市	京都府	全国
空き家率 (前回調査増減)	12.5% (-0.4%)	13.1% (+0.3%)	13.8% (+0.2%)
空き家数 (前回調査増減)	105,300戸 (-700戸)	180,400戸 (+8,600戸)	900万戸 (+51万戸)

※全国及び京都府の空き家率（空き家数）はいずれも過去最高

### <参考> 行政区別の空き家率・空き家数

行政区別では、11行政区のうち、7行政区で空き家率が減少、特に東山区(-3.2%)、伏見区(-2.0%)で大きく減少した。

行政区	空き家率(前回調査増一減)	空き家数(前回調査増一減)
北区	12.7% (-1.5%)	8,290戸 (-1,250戸)
上京区	13.2% ( 2.4%)	7,370戸 ( 1,630戸)
左京区	11.4% (-0.4%)	11,170戸 (- 140戸)
中京区	10.8% ( 0.8%)	7,470戸 ( 600戸)
東山区	16.4% (-3.2%)	3,890戸 (-1,330戸)
山科区	13.7% (-0.4%)	10,470戸 ( 320戸)
下京区	15.7% ( 0.9%)	9,040戸 ( 750戸)
南区	13.9% (-1.0%)	8,280戸 (- 140戸)
右京区	10.2% (-1.1%)	11,240戸 (- 820戸)
西京区	11.7% ( 1.9%)	8,610戸 ( 1,730戸)
伏見区	12.7% (-2.0%)	19,470戸 (-2,070戸)
市全体	12.5% (-0.4%)	105,300戸 (- 700戸)

## 2 「京都市空き家等対策計画」における空き家数についての取組指標

(京都市空き家等対策計画から抜粋)

「空き家の発生の予防」「活用・流通の促進」等の取組を実施し、1万戸超の空き家を活用・流通等させることにより市内に存する「市場に流通していない空き家(※1)」の増加を抑制(※2)します。

### 取組指標

市場に流通していない空き家の数：55,000戸に抑える。(令和5年)

本市において、市場に流通していない空き家は、平成25年時点で45,100戸存在し、何も対策を実施しない場合、令和5年時点では68,700戸まで増加すると見込まれるところ、令和5年までに1万戸超の空き家を活用・流通等させることにより、55,000戸に抑えることを目指します。

※1 総務省の住宅・土地統計調査において「その他の住宅」に分類される空き家

※2 平成27年度策定の国の「住生活基本計画」において「その他の住宅の増加の抑制(500万戸⇒400万戸)」が目標に設定されており、これを踏まえ、本市の指標を設定しています。

### 令和5年調査結果

市場に流通していない空き家の数は、44,300戸となり、前回調査(平成30年)よりも減少し、目標値を大幅に下回った。

